



8/13 風連ふるさとまつり



風連駅前通り特設会場で開催され、多くの市民で賑わいました。ときどき強く太陽が照り、子どもはかき氷をほおぼって、大人は冷えた飲み物を喉に流し込む。縁日でよく見られる風景が戻ってきました。実行委員長の上川北部森林組合の茂木組合長は「風連で一番賑わいのある祭り、親睦を図って楽しいひと時を」とあいさつされ、カラオケショーや阿波踊りなど盛りだくさんに実施。風舞あんどんを広場中央に設置し夜の部がスタート。あんどんと一緒に写真を撮ると花火がもらえる企画には、たくさんのご家族が押し寄せていました。

久しぶりの盆踊りでは、最初ただただ歩くだけだったものの、徐々に音色で体が反応するように踊っていました。

8/12 名寄観光大使新井舞良さんトークイベント



イオン名寄ショッピングセンターで行われ、芸能界に入るきっかけやドラマの撮影秘話などを話し、「故郷でこのようなイベントが行えて光栄です」とも話されました。

8/18 ezomen2022でグランプリ受賞を報告



なよろ観光まちづくり協会が出場。地域おこし協力隊の森和季さんと加藤市長が出演して、名寄のアクティビティを紹介する動画を制作。見事、グループ部門でグランプリに輝きました。

特設ステージのランウェイを堂々歩き、参加者を魅了。

ezomenは旭川近隣で行う地域活性を目的としたイベント。

なよろもちつきチャンピオン決定戦優勝者は前回優勝者が連覇。

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

8/28 なよろ産業まつり

なよろ健康の森で3年ぶりに開催。名寄太鼓源響による太鼓演奏で開幕し、入場制限を設けたもちまきを実施。次になよろもちつきチャンピオン決定戦が行われ、男女混合チームの計4組が熱いつきっぷりを披露。その後も、ひまわりちびっこ隊によるよさこい演舞、ダンスショーやバンド演奏などが行われ会場を盛り上げました。午後からは伊勢名物の餅菓子「赤福」の販売がスタート。名寄産もち米が使用されていますが、製造後の消費期限が2～3日であるため、名寄で流通することが難しく、購入客で長蛇の列が見られました。企業ブースもたくさんの親子がアトラクションを楽しみ、途中で滝のような大雨に見舞われたものの、多くの市民がまつりを楽しまれていました。

